

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○ 貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>新たな生活様式などの社会情勢の変化により市民農園の需要は高まっており、市民農園の充実は都市農業の振興を図るためにも重要な取組であると考えている。</p> <p>また、農業所得の向上や産地育成のため、本市の農産物の魅力を国内外に発信することは重要な取組であると考えている。</p>
見直し・改善内容	<p>J Aわかやまと連携し、市民農園開設費用を支援する制度のさらなる周知を図る。</p> <p>また、多様な広報媒体やメディアの活用による魅力発信への取組の実施や商談会の実施により、国内外へ本市の農産物の魅力発信に努める。</p>